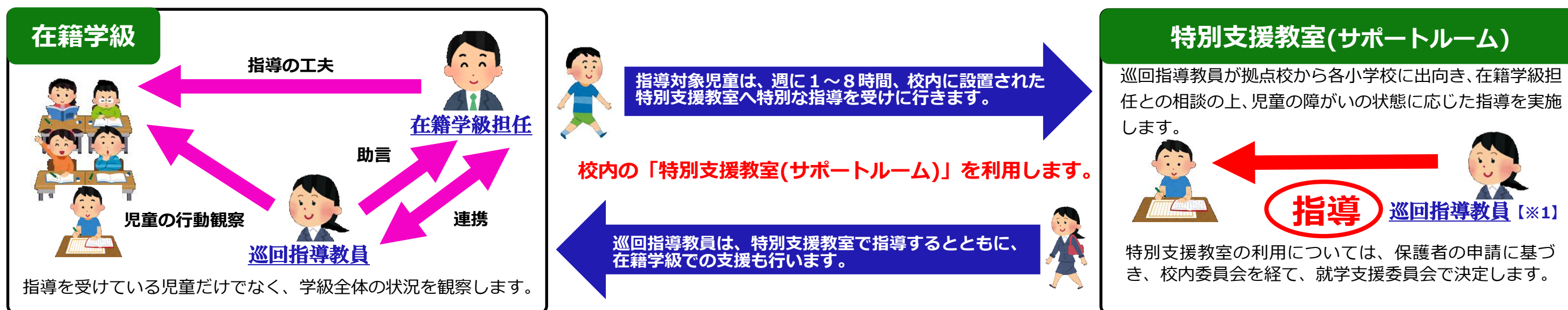


# 各小学校における指導・支援の体制



特別支援教室の導入を円滑に行うため、新規に特別支援教室専門員の配置及び臨床発達心理士等の巡回を行います。

新規



## 特別支援教室専門員(非常勤) 【※2】

巡回指導教員や特別支援教育コーディネーター、在籍学級担任等との連絡調整及び個別の課題に応じた教材の作成、児童の行動観察や記録を行います。

新規



## 臨床発達心理士等(巡回) 【※3】

児童の行動観察を行い、障がいの状態を把握し、巡回指導教員・在籍学級担任等に指導上の配慮について助言します。

## 特別支援教室で行う指導とは…

通常の学級に在籍する発達障がい（高機能自閉症、アスペルガー症候群、注意欠陥多動性障害、学習障害等）で、通常の学級での学習におおむね参加でき、一部特別な指導を必要とする児童に対し、障がいの状態に応じて行う「自立活動」や「教科の補充指導」です。

	高機能自閉症・アスペルガー症候群	注意欠陥多動性障害 (ADHD)	学習障害 (LD)
学習場面で現れる課題【例】	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆コミュニケーションがうまく図れない。</li> <li>◆相手の立場になって考えることが苦手である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆注意を集中し続けることが苦手である。</li> <li>◆授業中に席を離れてしまったり、質問が終わらないうちに出し抜けて答えてしまったり、他の人がしていることを邪魔してしまう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆音読が苦手である。</li> <li>◆書くことが苦手である。</li> <li>◆計算が苦手である。</li> </ul>
指導事例	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ロールプレイング等で、適切な会話ができるようにするための指導</li> <li>◆物語の登場人物の気持ちを考えるなどの指導</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆必要な情報を少なくし、いくつかの情報の中から必要なものに注目できるようにするための指導</li> <li>◆順番に人の話を聞くなど、ルールに従って行動できるようにするための指導</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆文字や語を正確に読む力を身に付けさせる指導</li> <li>◆原稿用紙にこだわらず、本人にとって書きやすいマスや行のプリントを用いた指導</li> <li>◆具体物を活用し、数の仕組みや操作の仕方を理解させる指導</li> </ul>

【※1】 これまでの通級指導学級の担当教員が「巡回指導教員」という名称に変わります。

【※2】 特別支援教室専門員は、全小学校に一人ずつ配置します。

【※3】 臨床発達心理士等とは、「臨床発達心理士」、「特別支援教育士」、「学校心理士」のいずれかの資格取得者です。各学校に年10回程度巡回訪問します。